

クラブ活動報告

カンボジアの未来をアートで拓く、児童養護施設への継続支援

和歌山アゼリアロータリークラブ

当クラブは2026年8月21日から23日までの3日間、和歌山市のフォルテワジマにて、カンボジアの児童養護施設「スナーダイ・クマエ」の絵画展に伴う支援活動を実施いたしました。同施設は和歌山県海南市出身のメアス博子氏が代表を務め、現在は様々な事情で身寄りのない子どもや困窮家庭の子どもたち10名が生活を共にしています。国からの公的支援がないため、子どもたちが豊かな感性で描いた絵画を展示・販売し、その収益を施設の貴重な運営費に充てています。

毎年8月の恒例となったこの絵画展において、当クラブは開催に向けた会場テナント費や準備金の抛出に加え、展示絵画の購入を通じた直接的な運営支援を行いました。購入された絵画は、子どもたちの健やかな生活環境を整え、教育の機会を広げるための大きな糧となっています。

過酷な環境を乗り越え、未来への希望をキャンバスに表現する子どもたち。彼らの自立を力強くバックアップすることは、まさに国際奉仕の真髄です。当クラブは、世界の子どもたちの笑顔と輝かしい未来を守るため、これからもこの温かい支援の輪を次世代へと繋げ、継続的な奉仕活動に邁進してまいります。

